

## 大飯原発の再稼働許さず原発とさよならする決断を求める 緊急集会アピール

集会参加のみなさん、政府・野田内閣は、26日の大飯町民向けの説明会で、福井県は原子力専門委員会の見解を受けて福井県議会の全員協議会を開催して意見集約という形で西川福井県知事に最終決断を委ねようとしております。しかも、この一連の動きを5月に完了しようとしています。いま必要なことは、拙速に再稼働を判断する事ではなく「事故原因の徹底究明を踏まえた安全基準の確立」を求める事ではないでしょうか。

みなさん、4月から発足するはずだった「原子力規制庁」は現在も出来ていません。国民から信頼を得ていない原子力安全保安院がまとめた「暫定的な安全基準」を原発の素人の政治家が短期間で政治判断しただけです。国会の事故調査委員会の最終報告もでていません、事故調査委員会の黒川清委員長も、政府の判断基準について、「暫定的な原因究明に基づいている。必要な対策が先送りされ、想定を超える災害に対応できていないことも明らか。住民の健康を守れるのか」と再稼働に否定的な考えを示しています。そのうえ原発30キロ圏内の住民の避難計画、免震重要棟、フィルター付きベント装置も作られていません。このような現状で「新たな安全基準」を押し付けて、原発の再稼働を急がせる事は、決して許されません。

私たちは、本日、福井県と全国から「大飯原発の再稼働許すな」の思いを持ち小浜市に集まりました。明日、福井県とおおい町に対して申し入れを行うとともに西川福井県知事には、住民説明会を開き、原発の再稼働の是非をめぐり納得のいく説明責任を求めていきます。そして「原発再稼働を許さず、原発とさよならする決断を」強く求めます。

2012年4月22日

「再稼働許すな緊急集会 in 小浜」参加者一同